

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	カラフル佐竹台		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者に安心して通所してもらえている。	ほとんどの職員が正社員で運営をしている為、職員の配置や役割を詳細にし、情報の共有や確認等を出来るだけ迅速に且つ詳細に行っている。	今後も安心、安全を第一に運営できるよう職員配置や役割を明確にし児童の課題や情報共有等、詳細に行えるよう取り組んでいく。
2	児童や保護者に楽しんで通所してもらえている。	良好な関係性や楽しんでもらうために児童の好きな事や得意な事に関連付けて療育を行い、楽しんでもらえるよう日々の計画を立てている。	引き続き児童の興味や関心に寄り添い新しい事も提供できるように取り組んでいく。
3	個々の特性に寄り添った丁寧な療育を提供している。	できるだけ児童の強みや、やりたい気持ちを取り入れ、保護者の要望や家庭、事業所での困り事等を面談時等で詳細に共有している。	引き続き児童の特性に合わせた丁寧な療育が出来るよう児童や保護者との関係性を築いていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会、保護者会、保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベント等家族支援、きょうだい支援について。又ペアレントトレーニングについて	日祝以外は原則6時間、児童を受け入れている為、時間確保と人員配置がとれない。又以前行った事もあるが働いている保護者や多子世帯も多く参加人数に乏しかった。ペアレントトレーニングについては個々によって課題が違う中、集団療育を行っている為どのように進んでいくのか悩ましい。	開所しながら保護者付で参加していただけるような行事等考えていく。又ペアレントトレーニングについての事業者向けの研修会を市の方でも行って欲しい。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会について	交流ができる保育所等の受け入れ先が見つからない。又自身が通園後に通所している児童が多い上、特性を考慮すると本当に必要な事なのか分からない。又多機能型である事も踏まえると時間的にも人員配置的にも難しい。右記にも記しているが安全面の確保にも不安が残る事、又保護者の協力が必要になってくる事等も考えられる。	出来る可能性があるとなれば、開所をしながら地域の方も出入りできる行事を行う等が想定されるが、その場合保護者同伴で来所してもらう事や自由な出入りの際の安全面の確保等、課題もあり児童も保護者もこれを求めているか疑義がある。
3	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出訓練について又事故防止等マニュアルについての周知や説明	必ず毎月一回は児童と共に曜日や時間を変えて避難訓練を行っており、訓練を行った日に連絡帳にて保護者に報告をしているが伝わり辛い。	送迎時に保護者へ報告やSNSを活用する等をして発信力を強化しており、訓練を行った日に連絡帳にて保護者に報告をしているが伝わり辛い。又マニュアルについては定期的に配布する等して周知していく。